



新見地域 多職種連携工千ケット

1. チーム意識をもち、お互い気持ちよく連携しましょう

職種により立場、制度、情報の優先度が違います。お互いの専門性を尊重し、相手の立場になって、思いやりをもって連携しましょう。丁寧な言葉遣いは連携の基本です。



2. 他職種と連絡を取る際には、訪問等を交え、顔の見える関係を作りましょう

特に初めて連携する相手とは、出来るだけ顔を合わせる機会を作りましょう。また、名札は常につけるようにしましょう。



3. 今後の状態の変化を予測しながら支援をしましょう

支援者間で、今後の病状や生活について認識を共有し、緊急時に慌てないよう対応を相談しておきましょう。



4. 初回連携時に、その後の連携方法(連絡方法や時間等)をきちんと確認しておきましょう

新見地域入退院支援ルールを参考にしながら、電話に出やすい曜日や時間帯の確認、不在時や緊急時の連絡方法についても決めておきましょう。



5. 病院や施設を訪問・面会で訪れる際は、事前に電話で確認をしましょう

突然訪問されても、十分な情報を用意できないことがあります。また、面会の場合でも、相手側には用事があることがありますので、事前に電話するか、窓口で一声かけましょう。



6. 専門用語は控え、分かりやすい言葉で伝えましょう

専門用語は相手に上手く伝わらない場合があります。分かりやすい言葉を使うか、注釈をつけましょう。



7. 新見版情報共有書を上手に利用しましょう

自宅、施設、病院での様子を、新見版情報共有書で相手に伝えましょう。また、その情報を支援者間で共有しましょう。



8. 医療・介護れんらく帳を上手に利用しましょう

医療・介護れんらく帳は緊急時等に本人の情報を得るための有効なツールです。関係者で記入の促し、支援、修正、加筆を行い、活きた情報となるようにしましょう。

